

# 能登半島地震のオフフォルト余震活動と周辺活断層への影響

## 遠田晋次 (東北大学 災害科学国際研究所)

- 金沢・富山市直下も含め震源断層から約 100km の地域で地震活動が活発化. 静的クーロン応力変化 ( $\Delta CFF$ ) の +0.1bar 以上の地域に相当.
- 志賀沖, 佐渡沖の海域活断層, 邑知潟断層帯で正の  $\Delta CFF$ . 条件によっては眉丈山断層も正. 富山湾内の海域活断層群は負の  $\Delta CFF$ . 活発化した地震活動とは矛盾.
- 能登半島南東岸の小活断層群は, 浅部だけの構造. M~7 地震を起こす可能性は低い.

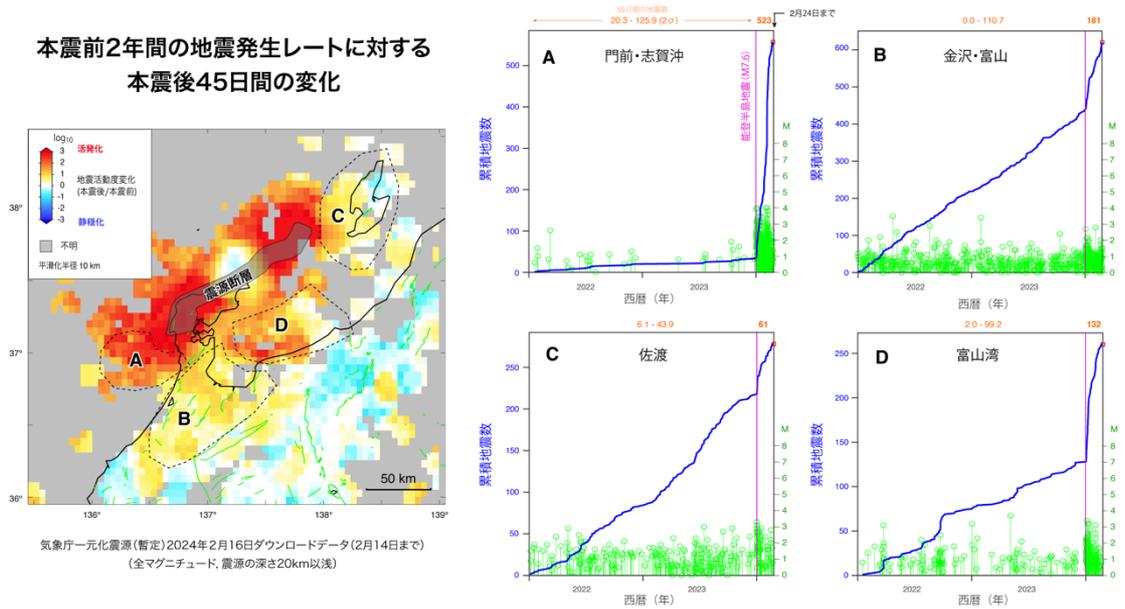


図1 令和6年能登半島地震による地震活動度変化と小区域の時系列.

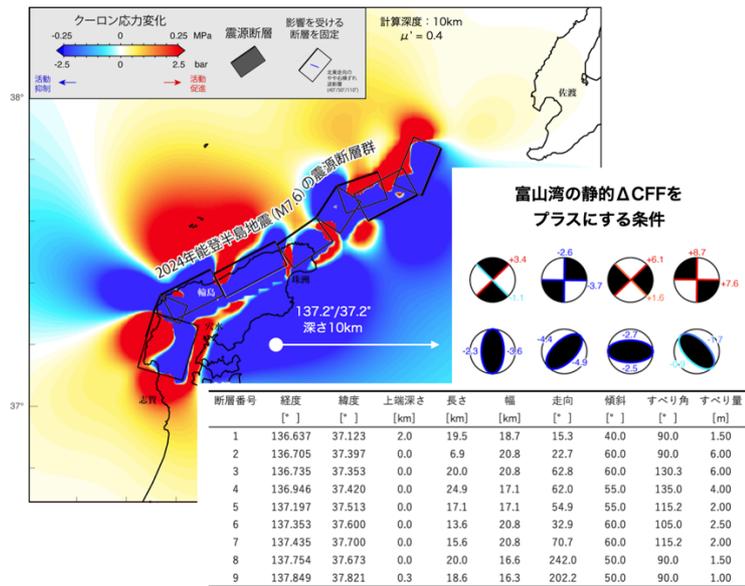


図2 能登半島地震の震源断層モデルと北東走向南東傾斜逆断層への静的クーロン応力変化.